

町民・行政協働でまちづくり

## まちづくり町民会議を設置します

まちでは、厳しい財政状況において財政再建を進める中、今後のまちづくりの推進に向けて町民と行政が共に考え、行動し、お互いに理解を深めながら議論する場として、「日野町まちづくり町民会議」を設置することとし、まちづくり説明会の中でも概要が説明されました。

総務企画課長 設置の経緯は、日野町では、住民のまちに対する意見の受け皿や話し合いの場がなかったこと。まちづくり町民会議は、まちの皆さんと財政や自立についての情報交換をしながら、これからのまちづくり・地域づくりの意見交換をする場として設置するものです。

町長 町民会議の意見交換の中で良い施策ができれば取り組んでいきます。よその真似でなく、日野町にあったまちづくりをしたい。また、町主導型

でなく、委員長、副委員長は委員の中から互選していただき、委員長が議長となっていただく。会議の記録や問題対応などは町職員が行い、必要に応じて他の団体を招いて話し合いたい。他の自治体の先頭に立って、新しい自治体を築き上げたいと思っていますので、よろしくお願いします。

### 日野町まちづくり町民会議 概要

委員数 20人(自治組織推薦15人、公募5人)  
12月25日まで、委員の推薦受付と公募を行っています  
任期 2年間  
会議 年間3～4回を予定しています  
その他 住民の皆さんに自主的に参加いただくという趣旨により、報酬・旅費等は支給しません  
問合せ 役場総務企画課(電話72 0331)



真剣に耳を傾ける参加者

まちの皆さんからの意見を聞く

まちからの説明の後、参加者との意見交換が行われ、まちの皆さんからの町政へのご意見、提言などが多く出されました。

その意見の一部とまちからの回答を紹介します。  
平成23年  
まちの推計では、

度から歳入の地方債を300万円、歳入の普通建設・災害復旧費を700～800万円見込んでいたが、災害が起きたらオーバーするのでないか。

助役 地方債と普通建設・災害復旧費については、平成19年度以降歳出ししないといけないもの、公団管や県営の農林道の負担金の決まったものだ

けです。災害復旧は計上していませんが、今後災害が無いのかと言われるとウソになる。今年も7月に豪雨がありまして。そのためにも、1億8千万円の基金(まちの貯金)をもっており、何かのときに取り崩して使いたいと考えています。

所得税、健康保険、介護保険など、今後町独自の税の値上げはあるのか。保育所の統合については、ここ数年ないと思っていたが、町長、議会からも話があった。黒坂の町から中学、高校、さらに保育所がなくなると、小学校がなくなったら何もなくなる。せめて小学校は黒坂に統合するつもりで考えてほしい。

総務企画課長 今後の住民負担について、今後ごみ袋の値上げを考えているところです。  
住民課長 固定資産税の0.1%値上げは、平成18年度、27年度までの10年間限定のもです。税については、平成19年度から国による税制改正が行われます。(詳しくは6～7ページを参照)

町長 小学校統合については、皆さんが同じ気持ちだと思

ます。子供の声が聞こえない町は本当に寂しい。統合問題はいろいろと模索している最中です。この声を教育委員会に伝えてもらいたいと思います。

将来、財政再建が終わったときに集落が生き残れることをしてほしい。まちづくり町民会議がその一つかもしれないが、行政としても考えてほしい。委員でない人も出席して意見を述べる場にしてほしい。また権限を持たせてほしい。やるからには、責任ある人が集まって、やれるような場にしてほしい。

町長 おっしゃるとおりです。今こうした事態に陥ったのは、行政主導でまちづくりを行ってきたためだと考えます。役場の人間が作ったものが必ずしも立派とは言えない。皆さんの意見の中にピカツと光るものがあります。そういう人を町民会議に推薦していただきたい。住んでいる人が元気になる、そんな意見を皆さんから出し合っていたらいいと思います。

現在、平成19年度予算を手がける時期でもあり、当初の

2億5千万円の赤字に加え、病院の負担、住宅新築資金などの未収額も膨らんでいる。来年度予算の骨格は考えているのか。

助役 今までは基金を取り崩して収支を合わせていたために実態が分かっていただけなかった。今年度当初から赤字予算を計上しました。平成19年度の予算も、推計では単年度の収支がまかなえないので、今年度以上に赤字が膨らむことが予想されます。今回説明したことを忠実に予算化し、さらに赤字が減るよう総額30億円を切る予算としたと考えています。

ひのつこ保育所と黒坂保育所が合併すると、保育所園児の送迎に困り、通園できないなどの問題が起きてくる。NPO法人格で福祉有償運行ができる特区申請をして、園児の送迎ができないか。運転手は団塊世代などのボランティアで行えば、保育所送迎の便宜が図れると思う。

健康福祉課長 福祉有償運行の特区申請をとのことですが、今年10月から特区申請しなく

ても福祉有償運行ができるようになりまし。身体等に障害があり、公的交通機関が使用できない、交通手段を持たない人について、登録制により西部地区一円で運送が認められています。すでに日翔会、町社会福祉協議会が実施していますが、現在、園児は対象として認められていません。

明るいまちづくり、元気が見えてきたようだが、推計では赤字となる平成23年（2011年）にはアナログテレビ放送が終了し地上波デジタル放送がはじまる。ケーブルテレビやアンテナの支援などの経過、計画があれば教えてください。

総務企画課長 地上波デジタル放送は、今年10月から日南町のケーブルテレビでは視聴できるようになっています。先日、ケーブルテレビ会社との打ち合わせをしたところ、整備費用が4億数千万円かかるとのことでした。価格も下がってきていますが、現在の現状では難しいと思われます。各集落のテレビの共聴については、NHKが関わっているので、最低でも5チャンネル

の確保に努力したいと思えます。携帯電話の不感地区解消も県や事業者にお願ひしていますが、採算面で難しい点があります。NTTドコモによるアンテナを増やす計画もあるようです。

町営バスについて、午前中の便が少なく不便である。もう一便でも増やすことができないか検討してほしい。

総務企画課長 町営バスは1日4便。基本的に学校の時間に合わせて運行しています。8月から小原、11月から三土に運行を始めるなど、利用しやすいバスを目指しています。町長 町営バスは、現在年間約1300万円の委託料で日本交通に委託して運行しています。運賃収入は町の収入と



今年1月から運行を始めた町営バス

なり、見込みでは1年で700万円くらいになると見込めます。11月から運行を始めた三土では集落あげて歓迎していただき、運転手に花束贈呈、車内も満員となりました。どうぞ気軽にバスを利用していただきたい。そして時間待ちには町図書館を利用してください。県内でも蔵書が多く立派な図書館です。

職員が住民の目線に立っているのか。役場に行っても、「金がない」の大義名分ではないか。職員の意識改革をしてほしい。

町長 職員の意識改革の基本は笑顔であいさつすること。心から笑顔で接すれば、お互い町民が一つになれます。私が就任してすぐに「笑顔であいさつを」と職員に言いました。最初は表情も硬かったですが、今は改善されてきていると感じます。住民の皆さんからも指摘していただきたいと思います。

多くのご意見ありがとうございました。